竹取物語 ・かぐや姫の生ひ立ち・

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段	第四段
竹取の〔①　　〕が、ある日、光る竹の中に小さな女の子を見つけ、家へ連れ帰って育てた。	それから、〔①　　〕が竹を取ると、黄金のつまった竹が見つかるようになり、〔①　　〕はしだいに〔②　　〕になっていった。	少女は成長し、〔③　　〕で一人前の女性になったので、〔①　　〕は成人の儀礼をした。少女の美しさは光り輝くばかりで、〔①　　〕は苦しいときも腹立たしいときも、慰められた。	〔①　　〕は命名式を行い、〔④　　〕と名付けた。酒宴に招かれた世の全ての男たちは、〔④　　〕を妻にしたいと熱望した。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) けうらなり

(2) 遊ぶ

(3) かしこく

重要文法 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 傍線部の助詞の種類と意味を答えなさい。

(1) 竹を取りつつ（四六・2）

(2) よろづのこと（四六・2〜3）

(3) 竹なむ一筋ありける。（四六・4）

(4) いと幼ければ（四六・8）

	(1)	(2)	(3)	(4)
種類				
意味				

2 傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

(1) 子になり給ふべき人（四六・6）

(2) 預けて養はす。（四六・7）

(3) 人になりぬれば（四七・2〜3）

	(1)	(2)	(3)
意味			
活用形			

3 傍線部「なる」を文法的に説明しなさい。

(1) 三月ばかりになるほどに（四七・2）

(2) あてなるもいやしきも（四七・14）

内容理解　次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1「あやしがりて」（四六・4）とあるが、なぜ不思議に思ったのか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　竹を取りに山に来たが、竹が生えていなかったから。
イ　竹の一つに根もとが光っているものがあったから。
ウ　竹の筒の中に小さな女の子が座っていたから。
エ　竹の筒の中に黄金が入っていることが重なったから。

□

2「いとうつくしうてゐたり。」（四六・5）とあるが、「うつくしう」は、どのような様子を表しているか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。また、(a)横線を引いて単語に区切り、(b)現代語訳しなさい。

ア　完璧でみごとな様子。　イ　上品で近寄りがたい様子。
ウ　いとしく心ひかれる様子。　エ　かわいらしい様子。

□

(a)　いとうつくしうてゐたり

(b)

3「翁、やうやう豊かになりゆく。」（四六・10～11）とあるが、その理由を説明しなさい。

4「よきほどなる人」（四七・2）とは、(a)どのような人のことか説明しなさい。また、(b)その根拠となる語句を本文から**二つ**抜き出しなさい。

(a)

(b)　・

5「帳のうちよりも出ださず、いつき養ふ。」（四七・4）とは、どのようなことか説明しなさい。

6「あてなるもいやしきも」（四七・14）について、省略されている言葉を補って現代語訳しなさい。

7かぐや姫の、通常の人間とは異なる神秘的な要素が表現されている部分を本文から**全て**抜き出しなさい。